

新年のごあいさつ

「躍進の年に」

野木町長 真瀬 宏子



新年あけましておめでとうございます。

町政も皆様のお陰をもちまして、つつがなく進行しております。新しい年の初めに、今年もより明るくスタートが切れ、ご自分の夢に向かって、皆様が元気に進んでいけますようにお祈り致します。

—煉瓦窯を町の誇りに—

野木町煉瓦窯の改修工事も完了し、3月末に交流センターが完成しましたら、隣接するラムサール条約登録湿地の渡良瀬遊水地ともども、煉瓦窯を多くの人に訪れていただけるよう、町内外に強力に宣伝していきたいと思えます。明治23年に完成したホフマン式煉瓦窯は、貴重な国指定の重要文化財であり、近代化産業遺産でもあります。野木町民、みんなの宝物として、これからも大切に保存してまいります。明治時代に近代化を進めるための重要な建材であった「煉瓦」をこの町で盛んに生産していたことを忘れることなく大いに誇りにしたいと思います。そして煉瓦窯と遊水地及び周辺の史跡が、観光と学習の拠点として輝けるように、全力で取り組んでまいります。5月10日(火)のグランドオープンを期に、多くの人々に愛され親しまれるスポットになるといいと思っております。

—健康タウンのぎ—

健康は誰もが願う事で、最近の健康志向は今までにない位のフィーバーぶりとなっています。野木町ではこれまで、「男女共同参画都市」宣言、「読書のまち野木」宣言等、幾つかの宣言をして、町の進むべき目標を掲げてきました。そのような中で、多くの町民の幸せの基盤として、今年は「健康タウンのぎ」の宣言を予定しています。体の健康はもとより、心の健康も大切なことと考えます。少しでも多くの方々が楽しみながら健康を増進させることが出来ますように色々な企画を予定していきます。そして健康寿命が県内第2位から1位へと上昇するように、町民あげて運動と食事、生活習慣等出来るだけ健康を主体に考えていこうと思えます。町中に元気が溢れ笑顔いっぱいの町となれば嬉しいです。たとえ病気とつきあうようになったとしても、「一病息災」として病を友としながら、心は元気に明るく保てれば、また素晴らしい事だと思えます。

—皆様が主役です—

野木町は栃木県の南の玄関口であり、東京に近い町として、便利な地の利を最大限に発揮出来るようにしていきたいと思えます。また豊かな自然環境も放っておくと荒地になってしまいます。美しく保つ努力を町民の皆様と共に怠らないようにしてまいりたいと思えます。小さい町だからこそ町民の皆様との協働で、出来る事が多くあると思えます。愛しい我々が郷土をこれからも美しく守っていくためにも皆様との協働は不可欠であると思えます。ご協力の程を宜しくお願い致します。今年も皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう、心より願っております。そして町もより大きく躍進出来る年となるように力を尽くしてまいります。主役である皆様のご健勝ご多幸をお祈り致します。

【初夢】

野木町議会議長 館野 孝良



新年、あけましておめでとうございます。

さて、「一富士・二鷹・三茄子」、初夢で見ると縁起が良いとされています。松原大橋付近からは富士山の美しい姿が見られ、野木神社ではオオタカが営巣しています。ナスは野木町でもたくさん作られており、その形は10月に完成した町の熱気球にも似ています。

かつて、こんな夢を見ました。コウノトリが子供を運び野木町煉瓦窯へ飛来し、その煙突の上に営巣してヒナを育てる。西洋の言い伝えにある心温まる話です。正夢ならば野木町に子供が増え、コウノトリを見るために多くの人が野木町へやってくることでしょう。

さらに、今年はこんな夢を見ています。

それは遠い遠い北欧のラップランドにあるサンタクローズ村での、サンタ会議の様子です。

サンタA「最近、東洋の日本では少子化が大きな問題になっているようだが、我々サンタにできることはないのか。」

サンタB「クリスマスのプレゼントをもっと配れば良いのでは。」

サンタA「それは良い考えだが、そのためには新たな中継基地が必要だ。」

サンタC「東京の近くの野木町というところに、大きな煙突のある煉瓦窯があるらしい。修理も終わり近く公開するそうだ。この写真を見てくれ。16角形の建物で、どの方向にも飛び出すことができる。」

サンタA「おお、それは理想的な煙突だ。しかし、日本はちょっと遠いな。どうやって行けば良いかな。」

サンタD「野木町には熱気球の世界チャンピオンがいるそうだ。彼に頼んで気球に乗って行けば良い。」

サンタA「もう一つ問題があるぞ。地球温暖化の影響で暑がりのトナカイが使えないが、何か替わりはないのか。」

サンタD「煉瓦窯の隣が乗馬クラブになっている。その馬を借りれば良い。馬たちも夜は空いているだろう。」

サンタC「ペガサスの翼を借りてくれば、空も飛べるようにもなるさ。」

サンタA「みなさん、それでよろしいかな。日本の野木町の煉瓦窯を、サンタ村の新たな中継基地にしよう。それでは、さっそく日本支部のサンタに下見をしてもらおう。」

また、こんな夢はどうでしょうか。5月には野木町煉瓦窯と交流センターがオープンします。正攻法で人を呼ぶのは至難の業ですが、昨今、「聖地巡礼」という旅が流行っており、埼玉県鷲宮町（現久喜市）の鷲宮神社が舞台となったアニメが事の始まりです。その鷲宮神社に多くの若者が来訪し、大きな経済効果を産み出しました。

野木町でも観光大使と町民が共に協力し、夢のあるまちづくりを実現して行こうではありませんか。